

(別紙様式)

## 令和7年度学校評価の実施状況等調査

学校名	沖縄県立美里工業高等学校
記載者名	教頭 屋宜 督

### 1 自己評価を実施した人数

	校長	教頭	事務長	教諭	事務	その他	計
実施人数	1	2	1	56	5	0	65

※その他 ( )

### 2 学校関係者評価を実施した人数

	学校評議員	PTA役員	その他				計
実施人数	4	0	0				4

※その他 ( )

### 3 外部アンケート等を実施した人数

	保護者	生徒	その他				計
実施人数	109	441	0				550

※その他 ( )

### 4 学校評価結果の公表方法等(該当項目に○、複数回答可)

自己評価	①ホームペー	②学校便り	③保護者への説明会	④その他(学校評議員会、職朝)
学校関係者評価	①ホームペー	②学校便り	③保護者への説明会	④その他(学校評議員会、職朝)

### 5 令和6年度の学校評価を踏まえ、令和7年度改善した点 (いじめ問題に関すること等)

① 教職員の生徒に対する人権意識の高揚を図るための職員研修の実施
② 行事の精選(中間テスト等)による職員の研究・修養の時間確保に向けた取り組み
③ 産業医・県働き方改革推進課との継続的な連携と安全衛生委員会の更なる充実
④ 事務部と各部・各学科の連携により、早期かつ適切な修繕(予算要求を含む)を実施
⑤ 各学科の特色を生かし、総合教育センター産業教育班と連携した授業づくり研修の実施

### 6 令和7年度の学校評価で明らかになった課題

①(職員)学習指導において、主体的な学びや学力の定着における授業展開が課題
②(職員)開かれた学校づくりとしてPTA活動の活性化が図られていない割合が高い
③(生徒)進路指導におけるキャリア教育等の生徒の否定的な割合が高い
④(保護者)生徒指導・教育相談の対応について保護者の否定的な割合が高い
⑤(評議員)工業高校の魅力や良さを、地域や幅広い年齢層への学校PRが必要

### 7 令和7年度の学校評価を活かした令和8年度の改善点

① 学習指導における一人一台端末も活用した主体的な学びの授業改善を図っていく
② 働き方改革(3軸6視点)の肯定的な意見が多いことから引き続き、働き方改革に取り組む
③ 進路指導を3年生主体から1・2年生主体の体制に進め、キャリア教育の充実を図る
④ 生徒指導・教育相談体制を充実させるとともに、保護者と担任との連携も推進する
⑤ 開かれた学校をよりPRするため学校HPの充実、スクリレの活用等広報活動の充実させる